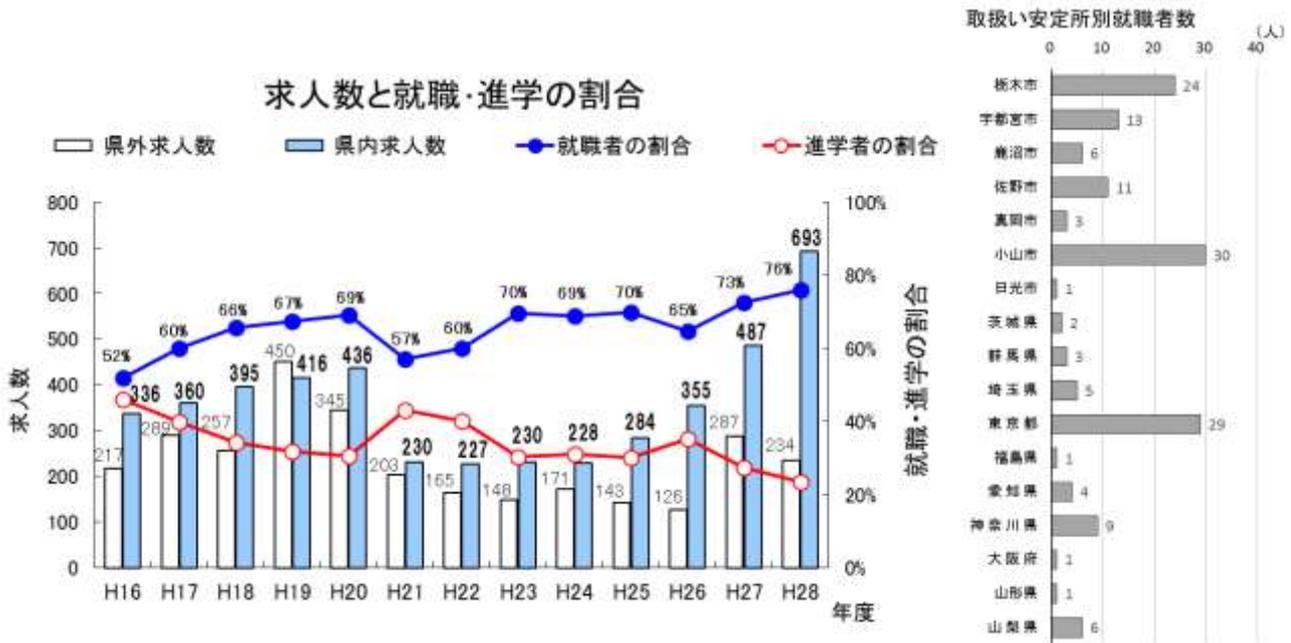


平成28年度「進路の状況」について

今年度の概況

本年度の求人进行分析すると、製造業を中心に「技能職・技術職へ対応できる若い力を求める傾向」が強くなりました。そして求人数は、平成の最高数値を記録し「求人状況は極めて良好」という状態になりました。栃木市・小山市を中心とした県南部地域や、埼玉県・群馬県地域からの求人も多くいただくことができました。特に卒業生の活躍が評価され、「是非とも栃木工業高校の生徒がほしい」という求人も多くありました。



平成28年度 卒業生 進路状況

進路先	機械科	電気科	電子科	情報技術科	合計
(1)就職者数	67	34	28	23	152
学校紹介による就職	57	27	24	20	128
県内	57	27	24	20	128
県外	7	6	4	3	20
公務員	3	0	0	0	3
縁故・自営	0	1	0	0	1
(2)進学者数	13	6	11	17	47
4年制大学	2	1	5	11	19
短期大学	0	0	1	0	1
高専編入学	0	0	0	0	0
公共職業能力開発施設	2	2	1	3	8
専門学校・各種学校	9	3	4	3	19
その他の学校	0	0	0	0	0
(3)その他	0	0	1	0	1
卒業生数	80	40	40	40	200

(1)就職

卒業生 200 人のうち、就職希望者 152 名全員が内定し、公務員にも 3 名が合格しました。鉄道関係に就職する生徒が多いことが本校の特徴であり、今年も 7 名の生徒がJR・東武鉄道に就職することになりました。また、従来からお付き合いのある企業だけでなく、Mizkan Sanmi、エスアイ

アイ・クリスタルテクノロジーなど、本校近隣の地元企業に対して生徒を送ることもできました。就職率76%は、本校おける最も高い就職率となります。

(2)進学

大学・短大進学者 20 名、専門学校への進学者 19 名、公共職業能力開発施設 8 名の生徒が、進学を希望しました。宇都宮大学工学部電気電子工学科に 1 名の生徒が挑戦し、猛勉強の結果合格することができました。また、専門学校に進学し、整備士や美容・医療など、新しい自分の夢の実現に取り組む生徒もいました。